「イチカシ」圧巻のパフォーマンス

市立柏高校吹奏楽部

8月29日、姉妹都市・千葉県柏市の市立柏高校吹奏楽部による特別公演がつがる地球村円形劇場で行われ、約4500人の聴衆を魅了しました。

同校は、全日本吹奏楽コンクールなどで数多くの最高賞を受賞している吹奏楽名門校。「イチカシ」の愛称で全国のファンに親しまれ、海外公演も行っています。つがる市内では、旧柏村の閉村記念イベントで演奏を披露した経緯があり、10年ぶりとなる今回は、トラック3台、バス6台で総勢280人が駆け付けました。

吉幾三さんの「雪国」の演出で幕を開けた公演では、本県ゆかりの曲や人気のアニメソング、アジアの民族楽器を取り入れた曲などを披露。質の高い演奏に合わせて、迫力あるダンスや合唱が繰り広げられ、来場者は圧巻のパフォーマンスに釘付けとなりました。

終盤では、地元木造高校吹奏楽部32人も演奏やコーラスに加わり、「青い森のメッセージ」など4曲で共演しました。

柏高校3年の金子直樹吹奏楽部長は「創立以来最大人数での公演となった。迫力と共に部員一人一人の練習の成果が伝わったのではないか」と笑顔で話していました。

柏高校吹奏楽部は、8月30日の馬ねぶたパレードや新田火まつりにも参加し、まつりを盛り上げました。

市立柏高校吹奏楽部
石田　修一 総監督

「柏村は何度も訪れた私の第二の故郷。閉村イベントで最後の曲を演奏した時は涙が止まらず、市の10周年記念公演の打診があるとは夢にも思わなかった。また10年後、20周年記念に円形劇場で演奏したい」

❶民俗衣裳で優雅な踊りを披露
❷迫力ある演奏とパフォーマンス
❸❹幅広い世代を楽しませた創作ダンス

開演を待つ来場者

木造高校吹奏楽部

演奏とコーラスで共演を果たした木造高校吹奏楽部

木造高校吹奏楽部
木村明加 部長
「演奏と歌で会場が一体になり、本当に楽しかった」

今　夢菜 副部長
「舞台裏での機敏な行動や礼儀正しさなど、演奏面以外でも勉強になった」

新田火まつり

キレのあるマーチングとダンスで来場者を魅了しました

馬ねぶたパレード

心をひとつに響かせる“イチカシ”吹奏楽部